

宮島口まちづくり国際コンペの概要

- (1) コンペ名 (仮称)宮島口まちづくり国際コンペ
「世界遺産・宮島(厳島神社)」の玄関口
～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～
- (2) 主催 廿日市市
- (3) 共催 広島県
- (4) 目的 宮島口地区を「日本の宮島」を訪れる世界の人々を迎えるにふさわしいまちへとつくり変えていくためのアイデアを募集する
- (5) 提案内容 宮島口まちづくりランドデザインを作成するためのアイデアを募集する。
・メインテーマ:「世界遺産・宮島(厳島神社)」の玄関口
～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐまちづくり～
・サブテーマ:「景観形成」「賑わい創出」「アメニティ向上」「公民連携手法」など
- (6) 賞金総額 850万円
- (7) 委員会委員 (以下参照)
- (8) 応募資格 国籍および資格は問わない
- (9) 応募登録 平成27年2月6日から受付を開始する予定
- (10) 公開審査 平成27年10月17日(予定)(最終審査として実施予定)

(仮称)宮島口まちづくり国際コンペ委員会の名簿

<委員会> (◎は委員長)

国際的に知名度のある世界遺産「厳島神社・宮島」の玄関口としてふさわしいコンセプトやアイデアなどを多角的な分野から審査するもののため、日本を代表する様々な分野の有識者等で構成し、本審査などを行う。

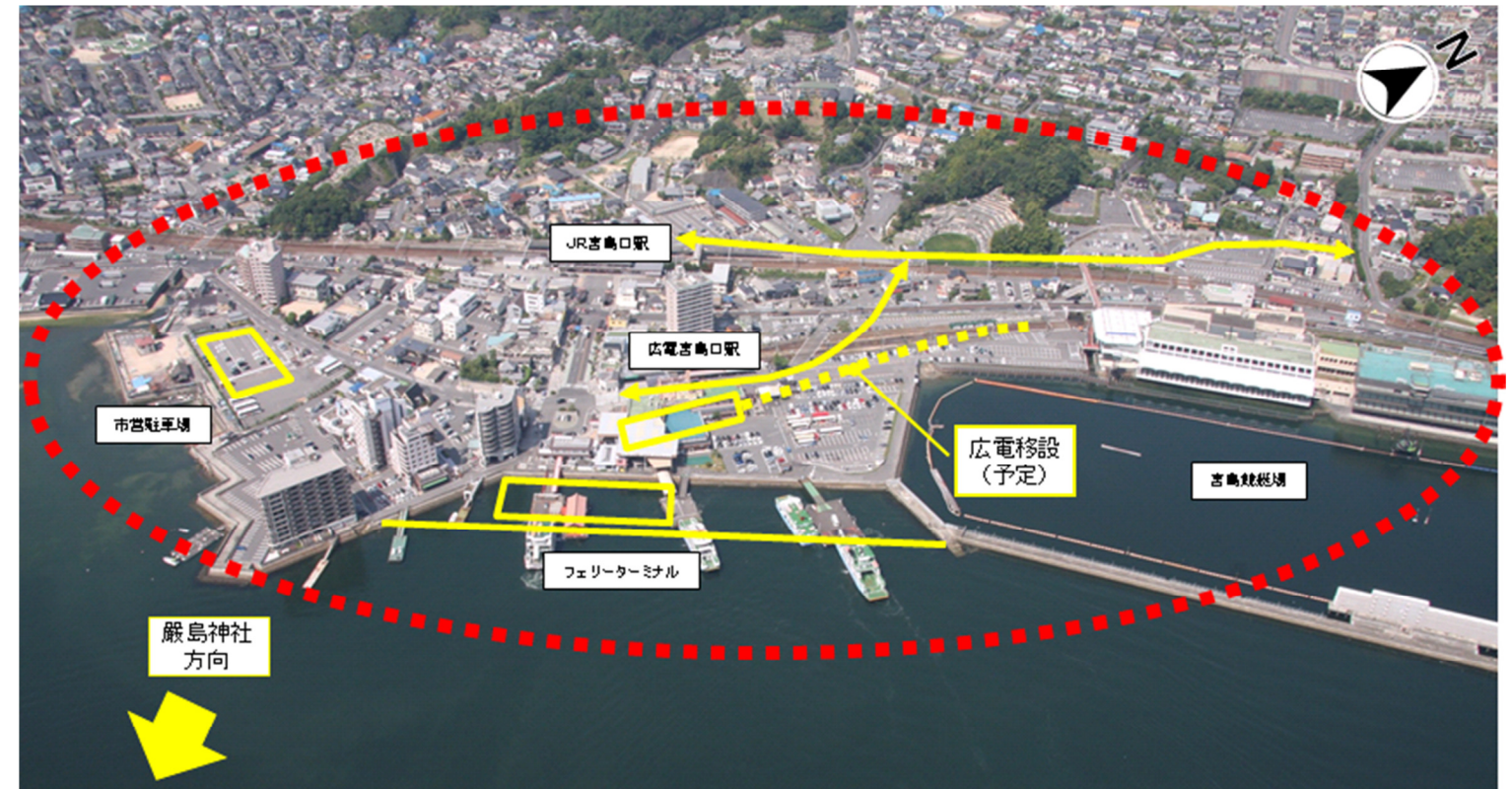
- ◎岸井 隆幸 日本大学理工学部教授
- 安藤 忠雄 建築家
- 石川 幹子 中央大学理工学部教授
- 上田 宗岡 茶道上田宗箇流 家元
- 橋爪 紳也 大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授
- 堀 繁 東京大学アジア生物資源研究センター教授
- 本保 芳明 首都大学東京都市環境学部教授
- 眞野 勝弘 廿日市市長

<委員会部会> (◎は部会長)

委員会の下で事務を補佐する役目を担っており、広島の実情に精通し、現在、その分野で活躍されている有識者等で構成し、予備審査などを行う。

- ◎橋爪 紳也 (委員会委員と兼任)
- 市川 尚紀 近畿大学工学部建築学科准教授
- 今川 朱美 広島工業大学工学部都市デザイン工学科准教授
- フック・カロリン 広島大学大学院総合科学研究科教授
- 石岡 輝久 広島県土木局都市技術審議官
- 原田 忠明 廿日市市副市長

○提案対象区域



○宮島口まちづくりランドデザイン (※第1期整備をトリガーに魅力あるまちづくりを推進)

スケジュール	ランドデザイン (全体構想)												次期→ 2026~ (H38)				
	第1期整備																
	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)					
計画策定																	
アイデアコンペの実施																	
ランドデザインの策定 (まちづくり構想)																	
整備計画の策定																	
ハード整備																	
①ターミナル デザイン等検討・設計・工事																	
②アクセス道路工事 (広電軌道移設)																	
ソフト整備																	
景観形成・賑わい創出																	

○宮島口地区と宮島(厳島)の位置



(問い合わせ先)

宮島口まちづくり国際コンペ事務局
〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
廿日市市建設部宮島口みなとまちづくり推進課内
Mail: info@miyajimaguchi.jp (専用サイト)
URL: http://miyajimaguchi.jp

委員会委員及び部会委員プロフィール

<委員会委員>

資料

■委員長

岸井 隆幸



日本大学理工学部教授（専門：都市計画、交通計画等）

1975年東京大学工学部都市工学科卒業後、同大学院修士課程修了。77年建設省入省後、95年日本大学助教授などを経て、98年現職に就任。日本都市計画学会会長、東京都「景観審議会」会長、新国立競技場基本構想国際デザイン競技委員、渋谷駅まちづくり調整会議副座長、(独)都市再生機構「事業評価監視委員会」副委員長、熊本県「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」座長などを歴任。2010年日本都市計画学会「2009年年間優秀論文賞」などを受賞。著書:「駐車場からのまちづくり:都市再生のために」など。

■委員

・安藤 忠雄



photo by 林景澤

建築家

世界各国を旅した後、独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所を設立。2003年に東京大学名誉教授に就任。11年東日本震災復興構想会議議長代理を歴任。1979年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、85年アルヴァ・アアルト賞、93年日本芸術院賞、95年プリツカー賞、2002年AIAゴールドメダル、10年文化勲章、13年フランス芸術文化勲章コマンドールなどを受賞。代表作:「光の教会」「フォートワース現代美術館」「ペンタ・デラ・ドガーナ」など。著書:「建築を語る」「連戦連敗」「仕事をつくる」など。

(五十音順・敬称略)

中央大学理工学部教授、東京大学名誉教授

(専門：環境デザイン、都市環境計画等)

1972年東京大学農学部卒業後、ハーバード大学デザイン学部大学院、東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。慶應義塾大学環境情報学部、東京大学大学院工学系研究科の各教授などを経て、2013年現職に就任、同年東京大学名誉教授に就任。東京都「公園審議会」、横浜市「緑の審議会」の各委員、宮城県岩沼市震災復興会議議長などを歴任。08年土木学会デザイン賞最優秀賞「各務原(学びの森)」などを受賞。著書:「都市と緑地」、「流域圏プランニングの時代」など。

・石川 幹子



・上田 宗箇

茶道上田宗箇流 家元



1968年慶應義塾大学経済学部卒業、72年戦国武将茶人上田宗箇が興した上田宗箇流家元若宗匠を継承、95年上田宗箇流家元を継承後、現在に至る。87年中国重慶市の日本庭園内茶室指導監修、88年広島市がドイツ・ハノーバー市に寄贈した茶室「洗心亭」の設計、同年広島国際会議場(丹下健三氏設計)内茶室設計監修、2003年賀茂鶴迎賓館を監修、08年日本で初となる主要国(G8)下院議長会議(議長サミット)が広島で開催時に茶のもてなしを行う。(社)青少年育成広島県民会議会長、(財)広島市文化財団理事などを歴任。著書:「上田宗箇流茶の湯 入門編」、「日々ごゆだんなきょう」など。

・橋爪 紳也



大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授・同大観光産業戦略研究所所長、大阪府・市特別顧問など（専門：建築史、観光政策論、都市文化論等）

1984年京都大学工学部建築学科卒業後、京都大学大学院工学研究科修士課程、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。京都精華大学人文学部助教授、大阪市立大学大学院文学研究科・同大都市研究プラザ教授などを経て、現職に就任。国際日本文化研究センター客員教授、大阪府市「文化振興会議」会長、大阪府市「都市魅力戦略推進会議」会長、大阪市「都市計画審議会」副会長、京都市観光振興審議会会長などを兼職。著書:「日本の塔 タワーの都市建築史」「『水都大阪』物語」「瀬戸内海モダニズム周遊」など。

・堀 繁



東京大学アジア生物資源研究センター教授（専門：景観工学、計画設計思想史等）

1976年東京大学農学部卒業後、環境庁自然保護局主査、東京大学農学部助手、東京工業大学社会工学科助教授などを経て、96年現職に就任。国土審議会、歴史的風土審議会、国会等移転審議会の各専門委員、埼玉県「景観審議会」会長、千葉県成田市「景観計画策定審議会」会長などを歴任。商店街・観光地等の集客地の活性化、街路・公園等公共施設の魅力づくりのアドバイザーとして活躍。著書:「景観からの道づくり」など。

・本保 芳明



首都大学東京都市環境学部教授（専門：観光政策学等）、初代観光庁長官

1974年東京工業大学大学院理工学研究科修了。同年運輸省入省後、経済協力開発機構日本政府代表部勤務、建設省都市局都市再開発課長、運輸省運輸政策局観光部企画課長、日本郵政公社理事などを経て、国土交通省観光庁長官に就任。退職後、2010年より現職。2013年より世界観光倫理委員会委員。2014年1月観光庁参与、同11月東京工業大学特任教授に就任。

【主催者側委員】

眞野 勝弘 廿日市市長

<部会委員>

■部会長

橋爪 紳也 同上 ※委員会委員と兼務

■部会委員

・市川 尚紀



(五十音順・敬称略)

近畿大学工学部建築学科准教授（専門：建築設計、パッシブデザイン等）

1993年東京理科大学工学部建築学科卒業後、内井昭蔵建築設計事務所チーフデザイナー、東京理科大学工学部建築学科補手、近畿大学工学部建築学科講師などを経て、2012年現職に就任。日本建築学会「都市の水辺小委員会」主査などを歴任。研究テーマは「伝統的集落の空間構成」「パッシブデザイン」「水辺の社会実験」「古民家再生」など。

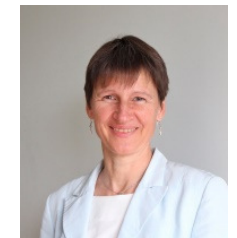
・今川 朱美



広島工業大学工学部都市デザイン工学科准教授（専門：都市地域計画等）

グラスゴー大学大学院建築学修士取得、京都大学大学院工学研究科修了環境地球工学専攻にて「環境共生地域づくりの理念分析とその計画化(2002年)」で博士(工学)取得、日本学術振興会特別研究員、広島工業大学工学部助教などを経て、2011年現職に就任。広島県景観アドバイザーなどを歴任。研究テーマは「持続可能社会と環境共生地域づくり」「美しいまち(都市デザイン)について」「愛されるまち(コミュニティー)について」など。

・フंक・カロリン 広島大学大学院総合科学研究科教授（専門：観光地理学等）



フライブルク大学で地理学と歴史学を修め、1987年愛媛県松山市に留学生として来日。松山大学、神戸学院大学、立命館大学等のドイツ語講師を務める。1998年にフライブルク大学博士課程修了、広島大学大学院総合科学研究科助教授を経て、2014年現職に就任。広島県「観光立県推進会議」委員などを歴任。現在の主なフィールドは瀬戸内海。研究テーマは「持続可能なツーリズム」「日本における観光開発」など。

【主催者側関係行政委員】

・石岡 輝久 広島県土木局都市技術審議官

・原田 忠明 廿日市市副市長